研修会報告

2024年2月15日(木)14:00～16:00 ハイブリッド開催(セリオホール・Zoom)

「在宅看取り支援を考える」

(58名参加:15職種)

座 長:神戸市西区医師会 顧問　石原内科・ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 院 長 石原 健造 氏

第1部:第13回多職種連携事例検討会～地域で生きるために～

事 例:要介護者が介護の担い手として在宅看取りができた事例

パネリスト: さなだクリニック　院　長　真田 隆一氏
たまつ訪問看護ステーション　管理者　来田 香代子氏(事例提供者)
ケアステーションこころ　介護士　喜田 登喜子氏
永栄園居宅介護支援事業所 相談課長 清水 孝二氏

[事例]難病他疾患をもった娘と父親の二人暮し。支援してくれていた父親が「がん」を発症。
本人・娘の気持ちに医療・ケアチームが寄り添い、在宅看取りができた。
[内容]パネルディスカッション・グループワーク

《質疑応答一部紹介》

- ICの場面に娘が入ったことで納得理解ができ、信頼関係構築できたことが良かった
  終末期の対応を娘と支援者が連携を取り対応された良いケアを学べた
- 看取りを本人・家族の希望の形に叶えるのをチームで連携されたことが良かった
- 「病院から送り出す際の情報提供でどういうのがあればよいか?」については、情報共有についてパネリストより意見を伺いました

第2部:第2回同行訪問伝達研修

訪問看護の現場に薬剤師が同行訪問研修を実施。
訪問看護師・薬剤師からの課題・気付きを一緒に考える
発 表: 第二西神中央さくら薬局　薬剤師　江原 明日香 氏
講 演: 訪問看護・リハビリステーションわたぼうしWEST 管理者 皆川 美穂氏

《研修の一部紹介》

- 課題:同行訪問2件より、看護師と患者・ご家族とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの取り方・器材を実際に使用している場面見学より、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの取り方・療養者において薬剤師の必要性。
- 講演:処方箋が変更時・患者へ新しい薬の説明の仕方・看護ｻﾏﾘｰの情報共有・担当者会議に薬剤師も参加・患者情報共有等何かあれば訪問看護へ連絡を頂きたい。

【成　　果】(アンケートより一部抜粋)

清水CM 江原薬剤師 喜田介護士 真田医師 石原医師 来田看護師 皆川看護師

薬剤師)・困難なｹｰｽでも多職種の協力により満足のいく結果にすることができる
看護師)・多職種でそれぞれの強みを生かしてチームで動くことで上手く支援できる
ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ)・情報伝達・共有が看取りの場合、とくにすぐに必要なこと
施設職員)・多職種連携の大切さ、信頼関係構築によりスムーズに仕事が進むこと
包括)・同行訪問研修はとても素晴らしい取り組みだと思いました。また企画して下さい
リハ職)・同行でお互いの仕事の内容が深まったと共に今後のより良い関係作りの提案に繋がった

主催:西区医師会・西区医療介護サポートセンター